

表 14 各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 ¹⁾ (mg/kg 体重/日)
ラット	90 日間 亜急性 毒性試験	0、5、20、500、2,500 ppm	雄：1.2 雌：1.5
		雄：0、0.3、1.2、30.5、155 雌：0、0.4、1.5、37.6、189	雌雄：小葉中心性肝細胞肥大等
	90 日間 亜急性 神経毒性 試験	0、20、100、400 ppm	雄：1.4 雌：8.4
		雄：0、1.4、7.2、28.7 雌：0、1.7、8.4、33.0	雄：甲状腺重量増加 雌：肝及び甲状腺重量増加 (神経毒性は認められない)
	2 年間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	0、5、20、75、250 ppm	雄：0.85 雌：1.17
雄：0、0.11、0.85、3.21、10.8 雌：0、0.29、1.17、4.40、14.7		雄：MCV 増加等 雌：肝絶対・比重量増加等 (雌雄：甲状腺濾胞細胞腺腫)	
2 世代 繁殖試験	0、10、75、500 ppm	親動物及び児動物： P 雄：4.77 P 雌：5.82 F ₁ 雄：6.03 F ₁ 雌：6.76	
	P 雄：0、0.66、4.77、32.3 P 雌：0、0.78、5.82、37.4 F ₁ 雄：0、0.80、6.03、39.6 F ₁ 雌：0、0.91、6.76、45.2	親動物：肝及び甲状腺絶対・比重量増加等 児動物：低体重等 (繁殖能に対する影響は認められない)	
発生毒性 試験	0、3、10、30	母動物：3 胎児：10 母動物：肝重量増加 胎児：骨化遅延 (催奇形性は認められない)	
マウス	18 カ月間 発がん性 試験	0、10、50、150、300 ppm	雄：25.6 雌：12.5
		雄：0、1.7、8.6、25.6、50.8 雌：0、1.7、12.5、36.3、73.5	雄：ALT 増加等 雌：肝比重量増加 (雌：肝細胞腺腫)
ウサギ	発生毒性 試験	0、0.25、0.5、2、4	母動物及び胎児：0.5 母動物：体重増加抑制等 胎児：不完全骨化の増加 (催奇形性は認められない)

イヌ	90日間 亜急性 毒性試験	0、30、90、200 ppm ----- 雄：1.0、3.2、7.6 雌：1.1、3.6、8.5	雄：1.0 雌：3.6 雄：小葉中心性肝細胞肥大等 雌：ALP 増加等
	1年間 慢性毒性 試験	0、9、30、90 ppm ----- 雄：0、0.27、0.70、2.73 雌：0、0.22、0.76、2.51	雄：0.70 雌：0.76 雌雄：体重増加抑制
ADI			NOAEL：0.5 SF：100 ADI：0.005
ADI 設定根拠資料			ウサギ発生毒性試験

NOAEL：無毒性量 SF：安全係数 ADI：一日摂取許容量

D：無毒性量欄には、最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

<別紙1：代謝物/分解物略称>

略称	化学名
B	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルスルフィニル)-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
C	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルスルフィニル)-1H-ピラゾール-3-カルボキシアミド
D	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルスルホニル)-1H-ピラゾール-3-カルボキシアミド
E	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルチオ)-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
F	5-アミノ-3-シアノ-1-(2,6-ジクロロ-4-トリフルオロメチルフェニル)-ピラゾール-4-スルホン酸
H	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(2-ヒドロキシエチルスルホニル)-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
I	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(カルボキシメチルスルホニル)-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
J	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
K	5-アミノ-[2-クロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルスルホニル)-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
L	5-ホルミルアミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル
M	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-(エチルチオ)-1H-ピラゾール-3-カルボキシアミド
N	8-クロロ-3-エチルスルフィニル-6-トリフルオロメチル-4H-ピラゾロ[1,5- α]ベンズイミダゾール-2-カルボニトリル
O	2-シアノ-8-ヒドロキシ-6-トリフルオロメチル-4H-ピラゾロ[1,5- α]ベンズイミダゾール-3-スルホン酸
P	3-エチルスルフィニル-8-ヒドロキシ-6-トリフルオロメチル-4H-ピラゾロ[1,5- α]ベンズイミダゾール-2-カルボニトリル
Q	Jのグルクロン酸抱合体
R	5-アミノ-3-シアノ-1-(2,6-ジクロロ-4-トリフルオロメチルフェニル)ピラゾール-4-スルフィン酸
S	Jの硫酸抱合体
U	3-シアノ-1-(2,6-ジクロロ- α, α, α -トリフルオロ- <i>p</i> -トリル)-1,5,6,7-テトラヒドロ-ピラゾロ[4,3- <i>b</i>][1,4]チアジーン-6-オン-4,4-ジメチル
V	Hの硫酸抱合体
W	5-アミノ-3-シアノ-1-(2-クロロ-4-トリフルオロメチルフェニル)ピラゾール-4-スルホン酸
X	7-クロロ-5-トリフルオロメチル-1H-インダゾール-3-カルボキシアミド

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ai	有効成分量
Alb	アルブミン
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ
ALP	アルカリホスファターゼ
BrdU	5-プロモ-2-デオキシウリジン
BROD	ベンゾキシレゾルフィン-O-脱ベンジル化酵素
C _{max}	最高濃度
CYP	チトクローム P450
EROD	エトキシレゾルフィン-O-脱エチル化酵素
Hb	ヘモグロビン (血色素量)
Ht	ヘマトクリット値
MC	メチルセルロース
MCH	平均赤血球血色素量
MCHC	平均赤血球血色素濃度
MCV	平均赤血球容積
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
PROD	ペントキシレゾルフィン-O-脱ペンチル化酵素
PT	プロトロンビン時間
PTU	プロピルチオウラシル
RBC	赤血球数
T _{1/2}	消失半減期
T ₃	トリヨードサイロニン
T ₄	サイロキシシン
TAR	総投与 (処理) 放射能
T.Chol	総コレステロール
TG	トリグリセリド
TP	総蛋白質
TSH	甲状腺刺激ホルモン
TRR	総残留放射能

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)				
					エチプロール		代謝物 B		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
水稲 (玄米) 2000 年度	2	200 P	1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				21	0.010	0.006*	0.006	0.005*	
28	0.009			0.006*	0.007	0.006*			
	2			2	14	0.008	0.006*	0.005	0.005*
		21			0.012	0.008*	0.008	0.006*	
	2		1	14	0.13	0.08	0.10	0.07	
				21	0.10	0.07	0.17	0.11	
水稲 (稲わら) 2000 年度	2		2	14	0.22	0.14	0.19	0.15	
				21	0.10	0.07	0.17	0.12	
	2			28	0.07	0.05	0.14	0.10	
				200 SC	2	2	14	0.026	0.020
19	0.03	0.028	0.016				0.013		
28	0.05	0.039	0.030		0.023				
42	0.015	0.011*	0.017		0.011*				
水稲 (玄米) 2002 年度	2		2	56	<0.01	<0.008	<0.01	<0.008	
				2	2	2	2	14	0.8
19	0.5	0.48	0.52					0.46	
水稲 (稲わら) 2002 年度	2		2	28	0.80	0.55	1.10	0.74	
				42	0.28	0.21	0.55	0.38	
	2			56	0.22	0.16*	0.41	0.28	
				50 SC	2	2	7	0.02	0.02*
14	0.03	0.02							
21	0.03	0.02							
28	0.02	0.02*							
水稲 (玄米) 2004 年度	2		2	42	<0.01	<0.01			
				2	2	2	2	7	0.17
14	0.15	0.12							
水稲 (稲わら) 2004 年度	2		2	21	0.13	0.08*			
				28	0.06	0.05*			
	2		2	42	<0.05	<0.05			
				600 G	2	2	2	2	14
21	0.02	0.01							
34~37	0.01	0.01*							
44~48	0.03	0.02*							
水稲 (玄米) 2004 年度	2		2	51~55	0.02	0.01*			
				2	2	2	2	14	0.88
21	1.22	0.59							
水稲 (稲わら) 2004 年度	2		2	34~37	0.49	0.29			
				44~48	0.94	0.39			
	2		2	51~55	0.45	0.27			

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)			
					エチプロール		代謝物 B	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水稲 (玄米) 2005年度	2	91~111 SC	2	14	0.034	0.022		
				21	0.039	0.026		
水稲 (稲わら) 2005年度	2	91~111 SC	2	28	0.044	0.036		
				42~47	0.007	0.005*		
大豆 (乾燥子実) 2006年度	2	75~125 SC	2	14	1.79	1.22		
				21	1.25	0.83		
えだまめ (さや) 2006年度	2	100~150 SC	2	28	1.06	0.70		
				42~47	0.32	0.26		
りんご (果実) 2000年度	2	400 SC	2	7	0.05	0.03*		
				14	0.01	0.01*		
茶 (荒茶) 2000年度	2	200 SC	1	21	<0.01	<0.01		
				34~35	<0.01	<0.01		
茶 (浸出液) 2000年度	2	200 SC	1	7	0.17	0.12		
				14	0.12	0.09		
りんご (果実) 2000年度	2	400 SC	2	21	0.04	0.03		
				42	0.035	0.025		
茶 (荒茶) 2000年度	2	200 SC	1	56	0.012	0.009		
				7	3.18	2.21		
茶 (浸出液) 2000年度	2	200 SC	1	14	2.45	1.36		
				21	0.35	0.19		
茶 (浸出液) 2000年度	2	200 SC	1	7	2.28	1.60		
				14	1.59	0.98		
茶 (浸出液) 2000年度	2	200 SC	1	21	0.13	0.10		
				7	0.51	0.37		
茶 (浸出液) 2000年度	2	200 SC	1	14	0.72	0.44		
				21	0.12	0.09		

注) G: 粒剤、P: 粉剤、SC: フロアブル

- ・一部に定量限界未満を含むデータの平均を計算する場合は、定量限界を検出したものとして計算し、*印を付した。
- ・全てのデータが定量限界未満の場合は定量限界の平均に<を付して記載した。

<別紙4：推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児 (1~6歳) (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者 (65歳以上) (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
米	0.039	185.1	7.22	97.7	3.81	139.7	5.45	188.8	7.36
大豆	0.03	56.1	1.68	33.7	1.01	45.5	1.37	58.8	1.76
えだまめ	0.12	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
りんご	0.186	35.3	6.57	36.2	6.73	30.0	5.58	35.6	6.62
茶	2.21	3.0	6.63	1.4	3.09	3.5	7.74	4.3	9.50
魚介類	0.087	94.1	8.19	42.8	3.72	94.1	8.19	94.1	8.19
合計			30.3		18.4		28.3		33.4

- 注) ・残留値は、申請されている使用時期・使用回数による各試験区の平均残留値のうちエチプロールの最大値 (参照 別紙3) 及び魚介類の最大推定残留値を用いた。
 ・「ff」：平成10年~12年の国民栄養調査 (参照 17~19) の結果に基づく農産物摂取量 (g/人/日)
 ・妊婦及び高齢者の魚介類のffは国民平均のffを用いた。
 ・「摂取量」：残留値から求めたエチプロールの推定摂取量 (μg/人/日)

<参照>

- 1 農薬抄録エチプロール(殺虫剤) : バイエルクロップサイエンス(株)、2004年、未公表
- 2 ¹⁴C 標識エチプロールを用いたラット体内における代謝試験 (GLP 対応) : Inveresk Research (英)、1999年、未公表
- 3 エチプロール安全性評価資料(2回目)・回答資料 : バイエルクロップサイエンス(株)、2004年、未公表
- 4 稲における代謝試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、2000年、未公表
- 5 綿における代謝試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、2000年、未公表
- 6 ピーマンにおける代謝試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、2000年、未公表
- 7 好氣的湛水土壤中運命試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、1999年、未公表
- 8 好気性土壌代謝試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、1999年、未公表
- 9 嫌氣的土壌中運命試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Ag Company (仏)、1999年、未公表
- 10 代謝物 RPA097973[B]の嫌氣的土壌中運命試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 11 土壌吸着試験 (GLP 対応) : (財) 残留農薬研究所、2002年、未公表
- 12 加水分解運命試験 (GLP 対応) : PTRL West, inc. (米)、1998年、未公表
- 13 水中光分解試験(滅菌緩衝液) (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2000年、未公表
- 14 水中光分解試験(滅菌自然水) (GLP 対応) : RCC Ltd. (スイス)、2002年、未公表
- 15 エチプロールの作物残留試験成績 : (財) 残留農薬研究所、2003年、未公表
- 16 エチプロールの作物残留試験成績 : バイエルクロップサイエンス(株)、2003年、未公表
- 17 国民栄養の現状—平成10年国民栄養調査結果— : 健康・栄養情報研究会編、2000年
- 18 国民栄養の現状—平成11年国民栄養調査結果— : 健康・栄養情報研究会編、2001年
- 19 国民栄養の現状—平成12年国民栄養調査結果— : 健康・栄養情報研究会編、2002年
- 20 エチプロールの乳汁への移行試験成績 : (財) 畜産生物科学安全研究所、2002年、未公表
- 21 エチプロールの土壌残留試験成績 : アベンティスクロップサイエンスシオノギ(株)成東研究所、2001年、未公表
- 22 ラットにおける急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1997年、未公表
- 23 ラットにおける急性経皮毒性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1997年、未公表
- 24 ラットを用いた急性吸入毒性試験 (GLP 対応) : Safepharm Laboratories Limited (英)、1998年、未公表
- 25 原体のラットを用いた急性経口毒性試験 : バイエルクロップサイエンス(株)、2004年、未公表
- 26 動物、植物、土壌中代謝物 RPA097973 (代謝物 B) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP

- 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1999年、未公表
- 27 動物、植物、土壌中代謝物 RPA107566 (代謝物 E) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1999年、未公表
- 28 動物、植物、土壌中代謝物 RPA112916 (代謝物 C) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 29 動物、植物、土壌中代謝物 RPA112917 (代謝物 D) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 30 植物中代謝物 RPA115369 (代謝物 K) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 31 水中光分解代謝物 RPA157925 (代謝物 N) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : (株) ボゾリサーチセンター、2002年、未公表
- 32 水中光分解代謝物 AE0764815 (代謝物 P) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : (株) ボゾリサーチセンター、2002年、未公表
- 33 動物、植物、土壌中代謝物 RPA104615 (代謝物 F) のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1993年、未公表
- 34 ウサギを用いた眼一次刺激性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1997年、未公表
- 35 ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc Agro (仏)、1997年、未公表
- 36 モルモットを用いた皮膚感作性試験 (GLP 対応) : CIT (仏)、1998年、未公表
- 37 ラットを用いた混餌投与による 90 日間反復経口投与毒性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2000年、未公表
- 38 イヌを用いた混餌投与による 90 日間反復経口投与毒性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 39 ラットを用いた混餌投与による 90 日間反復経口投与神経毒性試験 (GLP 対応) : Huntingdon Life Science (英)、2001年、未公表
- 40 イヌを用いた混餌投与による 1 年間経口投与毒性試験 (GLP 対応) : CIT (仏)、2001年、未公表
- 41 ラットを用いた混餌投与による 1 年間反復経口投与毒性/発がん性併合試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2001年、未公表
- 42 マウスを用いた 78 週間混餌投与発がん性試験 (GLP 対応) : CIT (仏)、2001年、未公表
- 43 ラットを用いた繁殖毒性試験 (GLP 対応) : Research Triangle Institute (米)、2001年、未公表
- 44 ラットを用いた催奇形性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2000年、未公表
- 45 ウサギを用いた催奇形性試験 (GLP 対応) : Aventis Crop Science (仏)、2000年、未公表
- 46 細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1998年、未公表
- 47 培養ヒト末梢血リンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1998年、未公表

- 48 マウスを用いた小核試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1998年、未公表
- 49 ラット肝培養細胞を用いた不定期DNA合成試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、2001年、未公表
- 50 細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : バイエルクロップサイエンス (株)、2004年、未公表
- 51 動物、植物及び土壌中代謝物 RPA097973 (代謝物 B) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1999年、未公表
- 52 動物、植物及び土壌中代謝物 RPA107566 (代謝物 E) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1999年、未公表
- 53 動物、植物及び土壌中代謝物 RPA112916 (代謝物 C) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、2001年、未公表
- 54 動物、植物及び土壌中代謝物 RPA112917 (代謝物 D) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、2001年、未公表
- 55 植物中代謝物 RPA115369 (代謝物 K) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、2001年、未公表
- 56 水中光分解代謝物 RPA157925 (代謝物 N) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、2001年、未公表
- 57 水中光分解代謝物 AE0764815 (代謝物 P) の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Huntingdon Life Science Ltd. (英)、2002年、未公表
- 58 動物、植物及び土壌中代謝物 RPA104615 (代謝物 F) の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : Rhone-Poulenc (仏)、1993年、未公表
- 59 ラットを用いた過塩素酸塩放出試験による甲状腺影響評価 (GLP 対応) : Huntingdon Life Science Ltd. (英)、2001年、未公表
- 60 ラットを用いたサイロキシンの血中動態に対する影響試験 (GLP 対応) : Huntingdon Life Science Ltd. (英)、2001年、未公表
- 61 ラットを用いたサイロキシンの胆汁排泄に対する影響試験 (GLP 対応) : Huntingdon Life Science Ltd. (英)、2001年、未公表
- 62 マウスを用いた肝毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Crop Science (仏)、2002年、未公表
- 63 生体機能への影響に関する試験 (GLP 対応) : 三菱化学安全科学研究所、2002年、未公表
- 64 食品健康影響評価について (URL:<http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-bunsho-33.pdf>)
- 65 第18回食品安全委員会 (URL:<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai18/index.html>)
- 66 第3回農薬専門調査会 (URL:<http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai3/index.html>)
- 67 第12回農薬専門調査会 (URL:<http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai12/index.html>)
- 68 第49回食品安全委員会 (URL:<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai49/index.html>)
- 69 第55回食品安全委員会 (URL:<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai55/index.html>)
- 70 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件 (平成16年厚生労働省告示第426号)
- 71 食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) の一部を改正する件 (平成

17年11月29日付、平成17年厚生労働省告示第499号)

- 72 農薬抄録 エチプロール(殺虫剤) : バイエルクロップサイエンス(株)、2007年、未公表
- 73 稲における代謝試験(湛水処理)(GLP対応) : Bayer CropScience AG(独)、2004年、未公表
- 74 エチプロール及びその代謝物の搾乳牛における乳汁中残留試験 : (有) 関東家畜臨床センター、2004年、未公表
- 75 エチプロールの搾乳牛における乳汁中残留試験 : (財) 畜産生物科学安全研究所、2003年、未公表
- 76 エチプロール 作物残留性試験成績 : バイエルクロップサイエンス(株)、2006年、未公表
- 77 エチプロール 作物残留性試験成績 : (財) 残留農薬研究所、2006年、未公表
- 78 エチプロールの魚介類における最大推定残留値に係る資料
- 79 食品健康影響評価について : 第218回食品安全委員会資料1-1
(URL:<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai218/dai218kai-siryou1-1.pdf>)
- 80 「エチプロール」及び「バクロプロトゾール」の食品安全基本法第24条第1項及び第2項に基づく食品健康影響評価について : 第218回食品安全委員会資料1-2
(URL:<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai218/dai218kai-siryou1-2.pdf>)
- 81 第12回食品安全委員会農薬専門調査会確認評価一部会
(URL:http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin1_dai12/index.htmlhttp://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin_dai2/index.html)
- 82 第35回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
(URL:http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai35/index.htmlhttp://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin_dai2/index.html)